



脱炭素社会の実現に向けて 29大学の学長と横浜市が懇談します。

～大学・都市パートナーシップ協議会代表者会議～

横浜市では、6月13日(月)に脱炭素化の取組をテーマとして、第16回「大学・都市パートナーシップ協議会」代表者会議を開催します。

会議では、山中竹春横浜市長の挨拶のほか、桐蔭横浜大学の池上和志教授による「ペロブスカイト太陽電池」の御講演、東京都市大学及び関東学院大学から学内の取組についての御紹介等を行い、協議会メンバーで情報共有、意見交換を行います。

開催概要

1 日時

令和4年6月13日(月) 14:00～15:30

2 会場

市庁舎 31階レセプションルーム (横浜市中区本町6丁目50番地の10)

3 出席者(予定)

大学・都市パートナーシップ協議会に参加している29大学(学長又は理事長等)
横浜市 山中竹春市長、伊地知英弘副市長、鈴木和宏政策局長 ほか

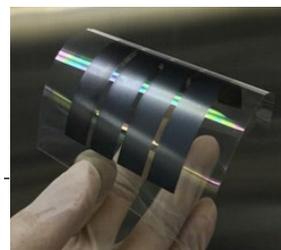
4 内容

- (1) 開会挨拶 山中 竹春 横浜市長
- (2) 横浜市の脱炭素化に関する取組 石川 武史 温暖化対策統括本部長
- (3) 講演
『脱炭素社会に貢献する「横浜発」のペロブスカイト太陽電池』
桐蔭横浜大学 池上 和志 教授

【講演内容】

ペロブスカイト太陽電池は、弱い光での発電や折り曲げることが可能で、軽量化も実現できることから脱炭素社会実現の鍵となる技術として世界中から注目されています。

本講演では、ペロブスカイト太陽電池研究・開発の萌芽から社会実装に向けた現在の課題について、横浜市を含めた産官学連携の取組とその研究成果、さらに将来展望を、進行中の研究プロジェクトの紹介を交えて解説いただきます。



ペロブスカイト太陽電池

(4) 大学による取組の紹介

- ・東京都市大学 関 良明 副学長
- ・関東学院大学 津軽石 昭彦 社会連携センター長

(5) 今後の展開について

※取材をご希望の場合は、当日会場までお越しください。

お問合せ先

政策局大学調整課長

澤田 賢一 Tel 045-671-4271

【裏面あり】

御講演者

桐蔭横浜大学 ^{いげがみ まさし}池上 和志 教授 医用工学部 臨床工学科 教授 博士（理学）

『脱炭素社会に貢献する「横浜発」のペロブスカイト太陽電池』

2002年筑波大学大学院化学研究科修了 博士(理学)。
2002年筑波大学文部科学技官等を経て、2005年に桐蔭横浜大学発ベンチャー企業・パクセル・テクノロジーズ株式会社に博士研究員として入社。プラスチック基板を用いる有機系太陽電池の実用化、太陽電池の評価装置開発に従事。2006年より桐蔭横浜大学助手、講師、准教授を経て2020年より教授。2022年より大学院工学研究科・研究科長。



横浜 大学・都市パートナーシップ協議会

大学が有する英知や学生力を活かした「地域社会づくり」を進めるため、平成17年に「大学・都市パートナーシップ協議会」を設立。

現在29大学が参加し、市内全域で、それぞれの個性、特色を活かしながら、地域の課題解決、横浜経済の活性化等、多種・多彩な地域貢献活動を行っています。



協議会参加 29 大学 (50 音順)

神奈川大学（神奈川区）	玉川大学（町田市）	明治学院大学（戸塚区）
鎌倉女子大学・短期大学部（鎌倉市）	鶴見大学・短期大学部（鶴見区）	八洲学園大学（西区）
関東学院大学（金沢区）	桐蔭横浜大学（青葉区）	横浜国立大学（保土ヶ谷区）
グロービス経営大学院（西区）	東京藝術大学大学院（中区）	横浜商科大学（鶴見区）
慶応義塾大学（港北区）	東京工業大学（緑区）	横浜女子短期大学（港南区）
國學院大學（青葉区）	東京都市大学（都筑区）	横浜市立大学（金沢区）
湘南医療大学（戸塚区）	東洋英和女学院大学（緑区）	横浜創英大学（緑区）
情報セキュリティ大学院大学（神奈川区）	日本体育大学（青葉区）	横浜美術大学（青葉区）
昭和大学（緑区）	フェリス女学院大学（泉区）	横浜薬科大学（戸塚区）
星槎大学（青葉区）	放送大学（南区）	